

1月のどきどき

黒毛牛初競り 出足は好調

1月9日、早来新栄にある道内最大規模のホクレン北海道家畜市場で初競りが行われました。

震災後の牛肉の消費減少などで価格が低迷していましたが、今年は前年の初競りを上回る好調な出足となり、取引された黒毛和種の頭数は1000頭を超えました。

昨年後半から価格は回復傾向にあるようで、期待の持てる一年になりそうです。



交通死亡事故ゼロ日

1,000日を目指して

1月10日、安平町交通安全協会では、事業所の代表らとともに早来神社にて今年一年の交通安全への祈りを捧げました。

1月末現在、町内の交通死亡事故ゼロ日は819日を記録しています。これは、日頃から同協会の方や推進員、指導員の方々、町民の皆さんの交通安全に対する活動の証ですが、冬期間の路面状況は常に変化します。ゆとりある行動を心がけ、事故から身を守り



ましょう。

また、町民センターでは、早来小学校PTAが実施した同学校児童作成の「交通安全ポスターコンクール」応募作品が展示され、冬道の安全運転や飲酒運転の危険性などドライバーへの呼びかけのほか、雪道で遊ばない、横断歩道の安全な渡り方など、歩行者に対しても交通安全を呼びかけるテーマの作品が見られました。

2月18日からは、安平町交通安全協会が選んだ作品が役場(早来庁舎)、せいこドーム、早来雪だるま郵便局で展示される予定です。是非、足をお運びください。

楽しく学ぼう

1月10日、遠浅小学校で北海道電力株式会社若狭小牧電力センターが、冬休み中の小学生を対象とした「おもしろ実験室」を開催しました。

身の回りで動いているものは、ほとんどが電気の力なしでは動かないものばかり。その電気の起源を知り、大切さを学びながら、手作りコイルでさまざまな実験に挑戦。

参加した15名の児童は、砂鉄を用いた実験で磁力の流れをウニやヒゲに例えてみたり、簡易モーターを作り、透明な箱の中に磁力を発生させるなど真剣に取り組みました。



町内全域を運行します

巡回バスに変わるデマンドバスが12月から運行を開始していますが、1月までは平常運行してきた巡回バスも2月からは1・2便のみに減便となり3月末で運行終了となります。

デマンドバスの利用には事前の登録や予約の必要性、有料化とマイナス面にとられる点もありますが、町内全域で運行されて自宅から利用できることや増便になった利点もありますので、商工会で手続き(随時)をして、町内の交通手段としての定着利用が望まれています。



利用者に好評のデマンドバス